第１号議案

活動報告書案
2022 年度

特定非営利活動法人　アジア女性自立プロジェクト

メール: awep@tcc117.jp
Web: https://tcc117.jp/awep/

Tel: 078-734-3633
〒653-0052
神戸市長田区海運町 3-3-8

内容

支援者のみなさまへ 3
Ⅰ　全体概要 4
Ⅱ　活動の詳細 5
1　海外事業 5
2　国内事業 11
3　組織運営全般 16
Ⅲ　活動の実施体制 18
1　意思決定と実務の体制 18
2　支援者のみなさま 18

支援者のみなさまへ

AWEP へのご支援、ご協力やご理解をいただき、まことにありがとうございます。このように活動を続けられてきたのはひとえに、みなさまのお力添えのおかげです。

さて、2023 年に入り、3 年間続いたコロナの混乱がようやく落ち着きをみせてきました。世界中のすべての人が何らかの影響を受け、社会活動、経済活動も混乱、停滞をしましたが、その遅れを取り戻そうとするかのように一気に人の動きが活発になってきたように見えます。しかし、3 年の時間を経た社会のさまは元のままではありません。経済の仕組みは、よりネット上に依存した形に変化してきました。ソーシャルメディアの仕組みを前提としたコミュニケーションは当然のことのようになりました。また、AWEP と協力してきた国内外のグループで中核となって支えてきた人たちの中には、病に倒れたり、この世を去ったりする人もありました。ともに仕事をしてきた仲間として非常に残念ですが、彼/彼女たちが育てきた土壌や次世代がさらなる活動が展開されると期待しています。

財務状況は、黒字を確保し、全体としては健全な状況を維持しています。中身としては、海外事業よりは国内事業に頼った構成になっています。支援的財源の減少傾向があり、バランスを考える必要はあります。

運営面については、3 名の非常勤スタッフと限られた体制ながら、ボランティアの方々の力のおかげで、事業を遂行できているところです。また事業ベースですが、学生グループの協力も大きな推進力となりました。

2024 年度には設立 30 周年を迎えます。そのため、前年度にあたる 2023 年度は 30 年間の総括的な 1 年になります。この間、AWEP では小さい規模ながらも、アジア女性のエンパワメント、ジェンダー平等への社会的アクションに取り組んできました。活動にあたっては、みなさまのご理解、ご協力なくしては継続できませんでした。計画している 30 周年記念事業では、多くの方々のご支援に感謝するとともに、活動の成果と残された問題をまとめる機会としたいと考えています。

「彼女たちの人権状況」は「私たちの」社会構造を映し出す鏡といえます。私たちの社会が、性別にかかわらずフェアでありえているのか。これは AWEP の理念でもあります。AWEP の実践がこの理念の実現につながるよう、支援者、スタッフ、役員のみなさんとともに歩みたいと思います。

代表理事　奈良雅美

Ⅰ　全体概要

2022 年度の方針として、海外事業では、生産者、登録店舗、地域とのつながりづくりを掲げて活動しました。国内事業では、相談体制、情報発信の強化、他団体との協力に力を入れる方針を立てました。

また、組織全体のありかたについては、設立 30 周年を迎える 2024 年に新たにビジョンを設定するべく、検討を進めるとしました。

いずれも、達成できたこと、道半ばのもの、手を付けられなかったことなどがあります。次ページ以降の活動の詳細でご報告します。

成果と課題のポイント

【海外事業の成果と課題】

- フェアトレード製品の売上の減少傾向が、卸売り、小売りとも続く
- 売上が厳しい中だが製品の発注を継続した
- 学生団体との協力でアップサイクルに取り組んだ
- 経年の在庫を減らすことができた

【国内事業の成果と課題】

- おしゃべりのつどいを継続して開催できた。参加者が増えないことが課題
- あんしんつうしんインターネットラジオ（YouTube）を月 1 回ペースで配信
- LINE アカウントをあんしんつうしん用に開設し、情報発信のチャンネルの多様化を図った

Ⅱ　活動の詳細

1　海外事業

売上の減少傾向が加速している。昨年度に比べ、半減した。売上目標 60 万円（2021 年度同レベル）を掲げていたが、その半分にとどまった。非常に厳しい状態になっている。その他の面では大きな変化はないものの、これまでと違う対応が必要と考える。

（１）フェアトレード等を通じた女性の自立を促進する活動

①　フェアトレード生産者のエンパワメント

【生産者の状況】

2022 年度は生産者との関係づくりの強化を進めてきた。意思疎通の点ではスムースなやり取りを継続できているが、生産者の年齢層が高くなりライフサイクル上の問題（病気、介護、など）が表面化しているところもある。フェアトレードを通じた支援が 30 年近く経ち、次世代への継承をどうするか考えなければならない。各団体の状況は次の通り。

- **フィリピン・ランパラハウス**が個人的な事情により活動継続が難しい状況が続いている。生産は中断中。復帰の意思は示されたものの、見通しは立たない。
- **タイ・バーントーファン**は継続的にコンタクトを取り、情報交換を随時行えた。ヤオ族の人びとの様子も動画を通じて伝えてくれた。若い世代は街に働きに行ってしまい、村には残ってないとヤオ族の女性たちは言う。また縫製のメンバーも子どもたちが専門職として独立するなど、親世代と違うキャリアを希求している。
- **ネパール・MKS ハンディクラフト**は、生産者の女性たちは変わらず、コロナ禍で売り上げがなくても生産を続けてもらっている。

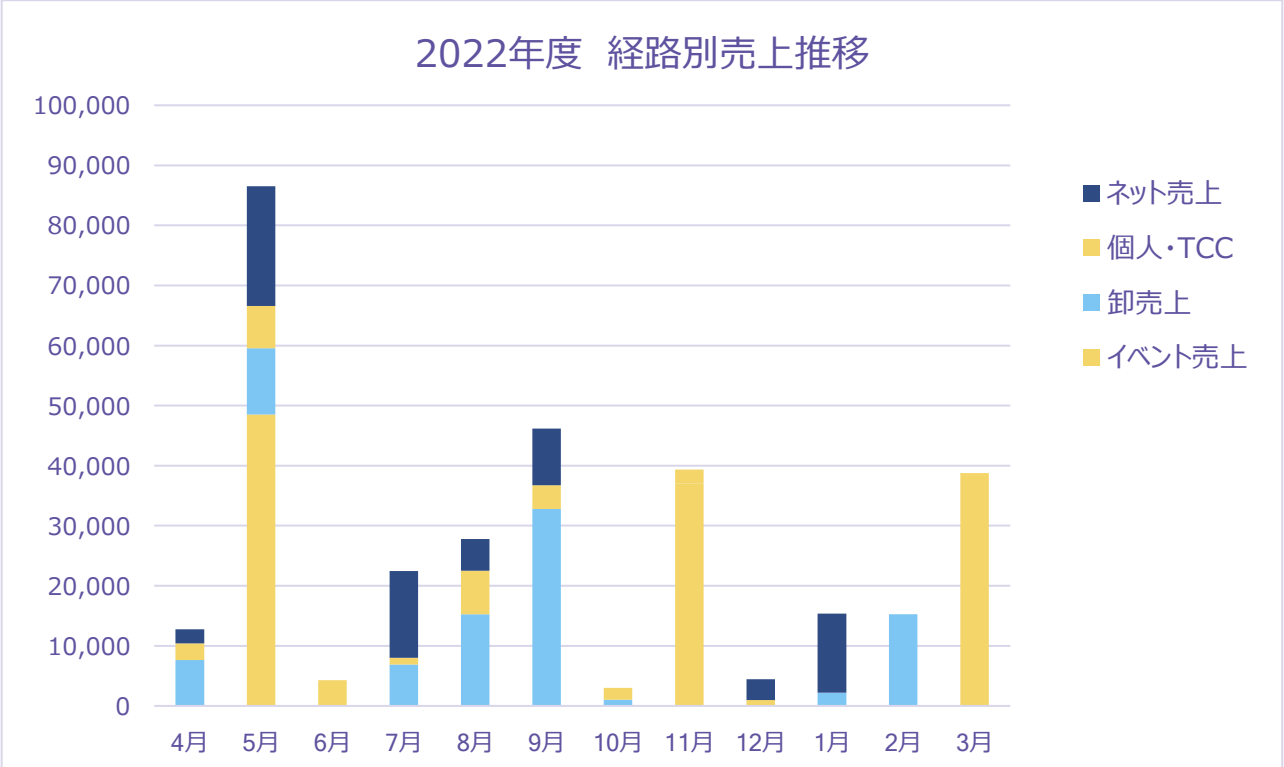
AWEP の売上は厳しかったものの、可能な限り発注した。（昨年度の発注高は 14 万円余り）発注状況は下の表のとおり。

生産者団体	発注内容
ランパラハウス/フィリピン	手織り布マルチケース 30 点（未入荷）（支払い済み）
バーントーファン/タイ	斜め掛けスマホバッグ 50 点（約 45,000 円）
MKS ハンディクラフト/ネパール	水牛の骨ボタンのヘアゴム 90 点、ヘンプハット 30 点（約 23,000 円）
アピクリ/インドネシア	発注なし

左上　斜め掛けスマホバッグ（5 色）上代 2,800 円　　右上　同ベージュ
左下　水牛の骨のヘアゴム（7 種）上代 600 円　右下　ヘンプハット上代 2,500 円

② 国内販売

先述の通り、売り上げ全体が昨年度比で半減となっている。その理由として次の 2 つが大きい。一つはネット通販の激減、もう一つは講演依頼に伴う販売機会の減少である。そのうえ従来からの卸売りの減少も続いている。



【卸売り】

この数年ほど注文をいただいていない登録店舗へ個別に連絡し、状況を確認した。多くの店が、休業、廃業、業態転換をされており、今後の発注は期待できない。2022 年度は新規に登録いただいた店舗はなかった。新たな卸先を開拓する必要がある。

卸売り金額の上位 5 つは、関西学院大学武田ゼミ（46,816 円）、エスペーロ能勢（33,583 円）、千手観音（14,058 円）、PEPUP（13,239 円）、フェアトレード風の樹（12,419 円）であった。関西学院大学武田ゼミと PEPUP はいずれも学生グループである。

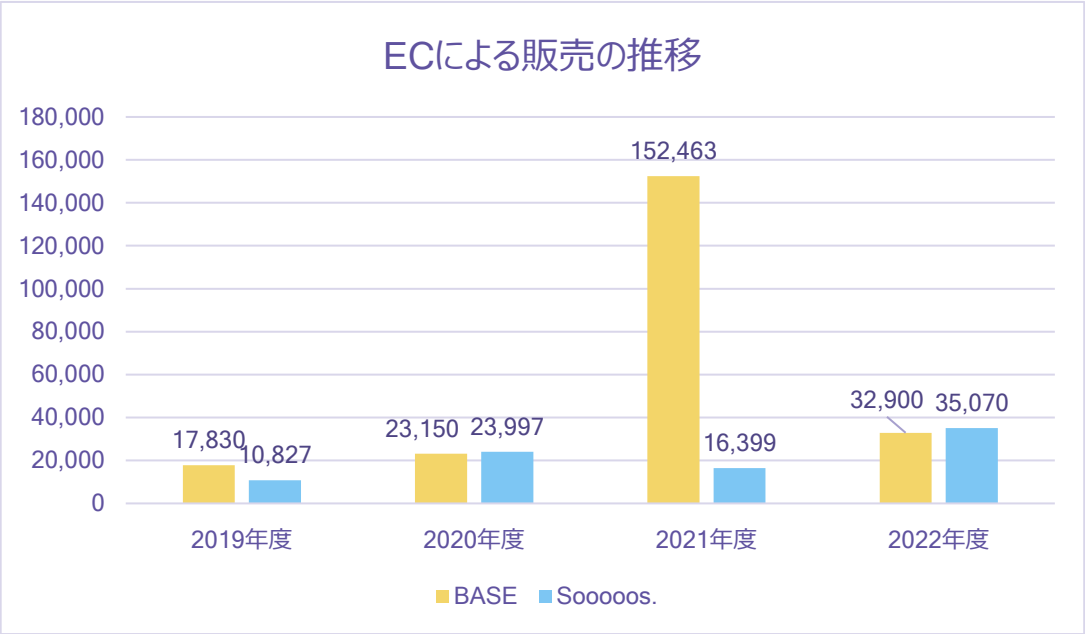
【イベント販売】

2022 年度もコロナの影響でイベントの機会が少なかったが、徐々にイベント開催も戻ってきた。しかし、昨年度多かった講演時の販売機会が全くなく、売り上げ減少に影響した。イベント参加は下記の通り。

- 5/15 兵庫県立大学欅祭り（左下）
- 2/26-3/12 神戸国際コミュニティセンター主催 フェアトレード神戸（右下）
- 3/26 アスタくにづかローカルアンドワールドフェスティバル

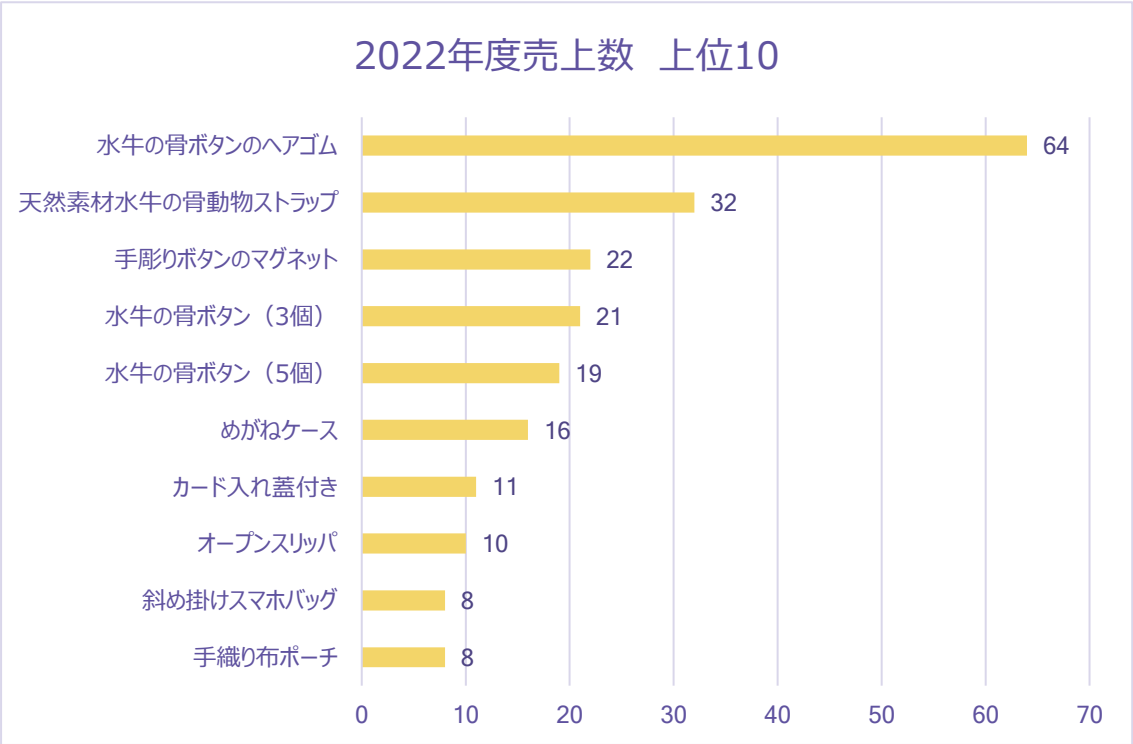
【EC による販売】

BASE 経由の注文は 32,900 円（7 件）、Soooos. 経由の注文は 35,070 円（7 件）であった。昨年度と比較して BASE は 5 分の 1（26 件、152,463 円）と一昨年と同レベルに留まった。Soooos.は、昨年度（5 件、16,399 円）購入金額は倍に伸びた。全体として EC による売り上げは厳しかった。



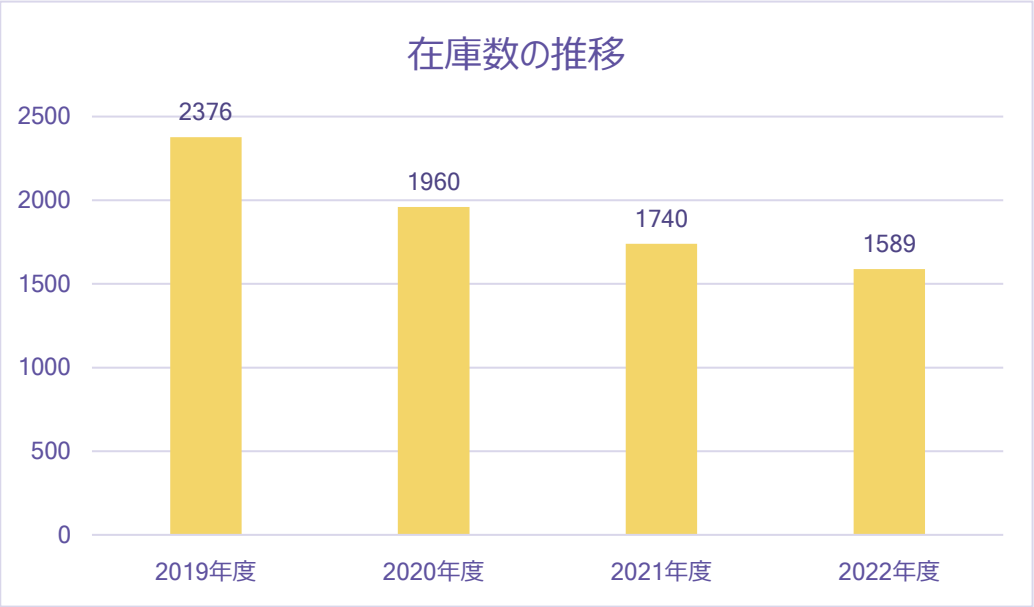
【製品別売上個数】

売上個数の実績は下記の通り。ネパール・MKS ハンディクラフトの水牛の骨ボタンを使った製品が上位を占めた。比較的低価格帯の製品が中心だった。



【在庫状況】

2019 年度末は 2,376 点であったが、2022 年度末で 1,589 点と 4 年間で 33%減らすことができた。しかし、10 年以上前の製品もまだ 200 点ほどあり、販売に苦労している。学生グループがアップサイクルのアイディアを出してくれ、再加工して販売できたものもあるので、引き続き、売り切りに努めていきたい。



【学生との共同事業】

- すまみらい×AWEP×PEPUP 共同事業

本事業は PEPUP の学生のみなさんが中心になり、昨年度から始まった企画。すまみらいの「にこにこマーケット」にコラボする形で「すまかふぇ」として、10 月 29 日に PEPUP と AWEP のフェアトレード製品の販売と、ワークショップを実施した。プレイベントの交流会も併せて開催し（10 月 11 日）、すまみらいの利用者の方にもワークショップを楽しんでいただけた。来場者数は昨年度よりもやや少なめではあったが、おなじみのイベントとして 3 団体、および地域の方々に認知されてきた。AWEP の製品は PEPUP を通した委託販売の形をとった。売上は 5,920 円。

- 関西学院大学武田ゼミ学生グループ

昨年度に続き、製品のアップサイクルに取り組んでくれた。水牛の骨ボタンをマグネットに、マスクケースをポーチに、バティックのストラップを帯留めにアップサイクルし、大学内でのイベントなどで販売してくれた。その他のフェアトレード製品販売も含め、2 度のイベントでの売り上げの合計は 28,072 円。

左上　マグネットセット　右上　マグネット　左下　帯留め　右下　ポーチ

2　国内事業

相談対応、情報提供などこれまで継続してきた事業だが、より伝わりやすいツールを活用して相談に対応した。

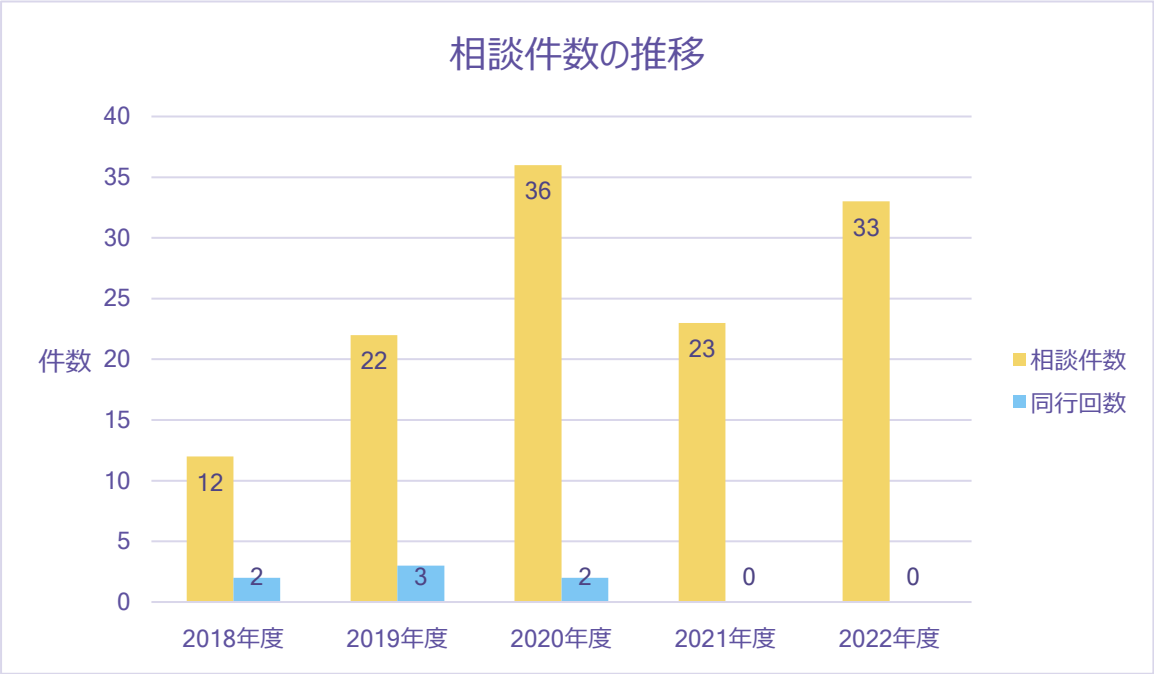
（１）　日本に住む外国人女性の生活相談や情報提供を通じた生活支援

①　生活相談事業

通常の相談日に加え、気軽に集い話せる場として月に１回「おしゃべりのつどい」を開催し相談があれば対応した。相談内容に応じ、情報提供・ＮＧＯ神戸外国人救援ネットをはじめとした関連団体への紹介・面談同行といった対応をした。

【相談件数】 18 ケース（同行はなし）

対応件数：33 件（回数）



相談者の国籍：フィリピン、ブラジル、ペルー、ベトナム、日本

【相談内容・傾向】

・ 在留資格、帰化申請、職場の人間関係（パワハラ）、DV、生活困窮

・ メンタルヘルスに関する悩みを耳にすることが増えたため、フィリピンコミュニティに依頼してアンケート調査を行った。2023 年度はこの結果を反映させた相談・情報発信事業、メンタルヘルスマネジメント支援事業を計画し取り組む予定である。

②　情報提供事業

これまで同様にメールによる発信、インターネットラジオでの番組配信、Facebook ページへの投稿を定期的に行った。加えて、10 月に LINE 公式アカウントを開設し、LINE での情報発信も開始した。

【あんしんつうしん】

●メール

発信内容の情報を収集・選択し、やさしい日本語に直し、英語に翻訳をして、メールで発信した。外国語による生活相談・法律相談、イベント・暮らしの情報、行政からのお知らせなど様々な内容を発信した。

発信回数： 19 回（No.337～355）

内容：

No.337 (2022.05.24) おしゃべりのつどいのお知らせ
No.338（2022.06.07） 熱中症
No.339（2022.06.15） 兵庫県の高校入試案内
No.340 (2022.08.09) 児童手当について
No.341 (2022.08.31) しごとのためのにほんご
No.342 (2022.09.13) 9 月のおしゃべりのつどいおしらせ
No.343 (2022.10.18) 10 月のおしゃべりのつどいのおしらせ
No.344 (2022.10.19) 保育所のもうしこみ
No.345 (2022.11.02) 11 月のおしゃべりのつどいのおしらせ
No.346 (2022.11.09) マサヤンタハナンのクリスマスパーティのおしらせ
No.347 (2022.11.16) あんしんつうしんの LINE アカウントのおしらせ
No.348（2022.12.06） 食料品・生活用品の配布のおしらせ
No.349（2022.12.29） 年末年始のごみ捨てについて
No.350 (2023.01.11) 1.17 のつどい
No.351 (2023.01.20) 1 月のおしゃべりのつどいのおしらせ
No.352 (2023.02.07) 1 日離婚相談ホットラインのお知らせ
No.353 (2023.03.14) 虫対策
No.354 (2023.03.15) 食料品・生活用品の配布のおしらせ
No.355 (2023.03.29) 自転車に乗るときのヘルメット着用義務化

●インターネットラジオ

FM わぃわぃの協力のもと月 1 回ペースで収録を行い、YouTube で配信。
日本語とタガログ語で当事者の生の声を届けた。
配信回数：10 回 視聴回数：359 回
内容：

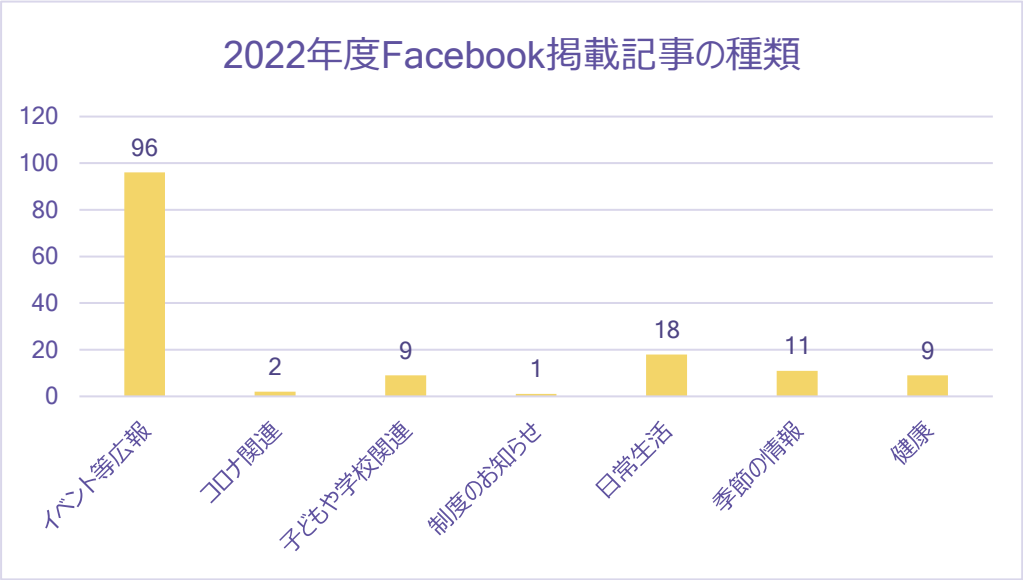
第 1 回（2022 年 5 月） 教育ガイドブックと女性の健康に関するガイドブックの紹介
第 2 回（2022 年 6 月） 熱中症
第 3 回（2022 年 7 月） コロナ感染の経験
第 4 回（2022 年 9 月） 防災情報
第 5 回（2022 年 10 月） 自転車の交通ルールと保険
第 6 回（2022 年 11 月） 日本の冬の楽しみ方
第 7 回（2022 年 12 月） 年末年始の生活情報、「1.17KOBE に灯りを in ながた」
第 8 回（2023 年 1 月） 日本の行事：節分
第 9 回（2023 年 2 月） 「一日離婚相談ホットライン」のお知らせ
第 10 回（2023 年 3 月） 引っ越し

2023年3月　AWEPあんしんつうしん「引っ越し（ひっこし）」

YouTobe リンク https://tcc117.jp/fmyy/category/program-info/tips-info-from-awep/

●Facebook ページ「あんしんつうしん」への投稿

おしゃべりのつどいなどイベント情報を中心に、生活情報全般の情報を発信した。



●LINE

10 月末にアカウント開設。毎週月曜日を中心に、やさしい日本語、英語、タガログ語で配信。今後は「友だち」（受信者）を増やすことが課題。

発信回数：39 回　受信者数：21 人

内容：イベント・相談会・食料配布会等のお知らせ、保育園・学校の手続きなど。

ラインアカウントリンク：https://lin.ee/hryPFqP

（２）　共生社会を創り出すための交流・啓発・アドボカシー活動

①　他団体との関係強化

● マサヤンタハナン

・　９月から月に１回、マサヤンタハナンに専門相談員として鋤柄理事を派遣し、同団体の相談体制をサポートした。

●特定非営利活動法人 NGO 神戸外国人救援ネット

・　運営委員として鋤柄理事が毎月第２月曜日の運営委員会に出席し、運営、事業に参画した。

・　昨年度より引き続き NPO 法人化を進める委員会に、鋤柄理事がメンバーとして参画。8 月 3 日に神戸市の認証、8 月 9 日に設立登記が完了し、特定非営利活動法人となった。11 月 23 日に「法人化のつどい」開催。

●ひょうご DV 被害者支援連絡会（HYVIS）

・　2022 年度も鋤柄理事が HYVIS 代表を務めた。

・　兵庫県内の被害者支援団体との定例会議（偶数月に合計６回）　のほか、 神戸市、兵庫県の DV 被害者支援担当者との懇談を行った。（定例会議以外の内容は下記の通り）

・　9 月 11 日「ＤＶ被害者支援　民間支援の実際と役割について知る」　（HYVIS 構成団体の活動紹介とパネルディスカッション）2022 年度兵庫県 DV 防止出前講座事業

・　2 月 5 日「対人援助職・援助者向け　こころとからだの休日～音楽療法＆ボディワーク」（講師：中西みゆきさん、栗岡多恵子さん）神戸市 DV 被害者支援者養成研修事業

●移住者と連帯する全国ネットワーク

・　6 月 11 日　全国ワークショップにオンライン参加

・　女性プロジェクトチームに参画、定例会に参加するとともに、企画立案等に関わった。

●たかとりコミュニティセンター

・　理事として奈良が運営に参画。地域の他の団体のネットワークを形成し、地域の課題について協議した。

・　月 2 回の連絡会に参加し、団体の運営や地域の課題について情報交換などを行った。

②　勉強会、セミナーの実施

●おしゃべりのつどい

気軽に集える場を提供することで相談しやすい環境を作り孤立を防ぐことを目的とし、月に 1 回開催。

5 月、7 月、8 月は、神戸市の「つながりサポート事業」の「女性のためのほっとスペース：ワークショップとおしゃべり会」として実施。10 月からは中央共同募金会の助成金を活用し、食品等の生活支援物資の提供も開始。

内容：

第 1 回（2022 年 5 月 28 日）

第 2 回（2022 年 6 月 25 日）　七夕飾り作り

第 3 回（2022 年 7 月 30 日）　暑中見舞いはがき

第 4 回（2022 年 8 月 27 日）　夏休みの宿題を一緒に

第 5 回（2022 年 9 月 24 日）　子育てについておしゃべり
第 6 回（2022 年 10 月 29 日）
第 7 回（2022 年 11 月 26 日）ヨガ（講師：川南千津子）
第 8 回（2023 年 1 月 28 日）メンタルヘルス（ボランティア Swati さんが東京から Zoom 参加）
第 9 回（2023 年 2 月 25 日）セルフマッサージ（講師：工藤真樹）
第 10 回（2023 年 3 月 25 日）

③講師派遣・視察訪問などの受け入れ

●講師派遣：　4 件（昨年度 13 件）

- 5/9　兵庫県立大学大学院講義
- 5/12　神戸大学 GCP 特別講義
- 6/10　神戸市シルバーカレッジ講義
- 10/21　神戸市シルバーカレッジ講義

●視察等：　3 件（昨年度 1 件）

- 9/14　中央共同募金会企業向け報告会（日本イーライリリー）　オンライン
- 6/2　関西学院大学武田ゼミ学生
- 6/15　神戸女子大学学生

●インターン受け入れ：　5 件（昨年度 2 件）

- 7/19　関西国際大学学生　2 名
- 7/27　大手前大学学生 5 名
- 8/3　大手前大学学生 5 名
- 10/29　京都外国語大学学生 1 名
- 11/26　京都外国語大学学生 3 名

④　連携事業

【女性による女性のための相談会】

2022 年度もウィメンズネットこうべが神戸市から受託して実施。AWEP は協力団体として参加した。５，６，７月はウィメンズネットこうべと AWEP がそれぞれ別に会場を設け、フリートークとワークショップを実施し、8、10、12、2 月はあすてっぷ KOBE で 2021 年度と同様に専門家による相談会を実施した。AWEP からスタッフとして鋤柄と奈良が、ボランティアとしてオウさんが参加した。

数は少なかったものの、外国籍の女性の相談もあった。2023 年度も継続して実施される予定だが、外国籍女性への周知と参加の敷居を下げる工夫が必要。

⑤　調査活動

女性たちのメンタルヘルスに関する悩みを耳にすることが増えたため、フィリピンコミュニティに依頼してアンケート調査を行った。調査方法、調査票の作成および結果の分析にあたっては、梅田理事に協力をお願いした。2023 年度にその分析を踏まえて、相談・情報発信事業、メンタルヘルスマネジメント支援事業を計画し取り組む予定である。

回収数：20

3　組織運営全般

（１）　広報

①　AWEP 説明会

2022 年度は参加希望者が少なかった。ボランティアの入口づくりとして、積極的に広報していきたい。

・　10/26　1 名（関西学院大学学生）

②　ニュースレター

6 月に 56 号を 12 月に 57 号をそれぞれ 500 部発行し、支援者や関係機関に送付したり、講演会などで配布したりした。またニュースレターを PDF にし、ウェブサイトに掲載した。

③　ネット広報

ウェブサイトの全面改訂を行い、スマートフォンの表示にも対応できるようにした。また、クレジットカード決済の仕組みを設置し、支援者の方への利便を図った。アクセス解析には着手できなかったので、2023 年度に取り組みたい。

ホームページ

ソーシャルメディアでも発信に努めた。Facebook のフォロワー1,232 名（あんしんつうしんページは 85 名）　Instagram182 名　Twitter754 名（あんしんつうしんアカウントは 7 名）。ただ、BASE とのリンクによる販売効果はそれほど高くないので、さらに工夫をした仕組みを構築したい。

リンクは下記の通り。

Facebook　https://www.facebook.com/awepkobe
https://www.facebook.com/profile.php?id=100075638005156
Instagram　https://www.instagram.com/fairtrade_awep/
Twitter　https://twitter.com/awep
https://twitter.com/awep_tcc

（２）　交流活動

公開の交流会はできなかったが、ボランティアやスタッフ間の内部での食事会を数回実施し懇親を深めた。

（３）　助成金採択の実績

助成金名	事業名	助成金額	内容
公益信託神戸まちづくり六甲アイランド基金	在住外国人女性に向けた情報発信・相談活動の強化及び当事者の発信力を強化する事業	60 万円	相談事業、あんしん通信事業、メンタルヘルス調査
中央共同募金会「第 2 回外国にルーツがある人々への支援活動応援助成」（2022 年 4 月～9 月）	地域に暮らす外国にルーツがある女性のための相談・情報発信事業	819，308 円（決定金額 91 万円）	相談事業、あんしん通信事業、マサヤンタハナンのエンパワメント
中央共同募金会「第 3 回外国にルーツがある人々への支援活動応援助成」（2022 年 10 月～2023 年 9 月）	地域に暮らす外国にルーツがある女性のための相談・情報発信事業	決定金額 200 万（内 100 万円が 2022 年度分）	相談事業、あんしん通信事業、おしゃべりのつどい、マサヤンタハナンのエンパワメント

Ⅲ　活動の実施体制

1　意思決定と実務の体制

項目	内容
会議	①　通常総会　2022 年 5 月 21 日（土） ②　理事会　2022 年 9 月 30 日（土）、 2023 年 2 月 16 日（土）
事務局の体制	＜ｽﾀｯﾌ＞（敬称略） ①事務局長（総務・財務）：鋤柄利佳 ②全体統括・海外事業：奈良雅美 ③国内事業：鋤柄利佳、野田ｼﾞｨｰﾝ ＜ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ＞（五十音順、敬称略） 井之上章子、いなだ多恵子、岩崎祐子・美結、ｵｳｼｾﾝ（WangZixuan）、 岡内克江、香取千晴、坂田真生、柴山未来、ﾁｪｲｽ洋子、西松はる、樋口景、 ｽﾜﾃｨ・ﾐﾀﾙ（Swati Mittal）、宮本由幾 ＊ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動時間合計：延べ 95.25 時間（在宅活動除く）

2　支援者のみなさま

	お名前（五十音順、敬称略）
運営会員（18 名）	縣晶子 朝倉克己 いなだ多恵子 梅田麻希 岡内克江 太田和宏 鹿嶋節子 木住野舞 定藤繁樹 鋤柄利佳 高木健作 武田　丈 仲尾育哉 奈良雅美 西脇鈴代 藤川真澄 もりきかずみ 吉野太郎
賛助会員（46 名） ＊内 5 名の方は匿名	井原由紀子 ｴｽﾍﾟｰﾛ能勢 王貴美子 大森恵実 木村恵子 木村淳子 坂本陽子 佐渡いづみ 清水晴美 下村知子 白井廣美 鈴木迪子 高木澄子 高月渚 高原幸子 太治和美 谷口幸子 ﾁｪｲｽ洋子 特定非営利活動法人すまみらい 中川加代子 中嶋悦子 中嶋秀昭 中野由貴 中森俊久 西海ゆう子 野見山美香 長谷川美代子 服部尚美 ﾋﾞｰﾝｽﾞ・ｱｸﾄ 飛田雄一 日比野純一 藤井智子 藤井洋子 藤田ふみ子 松代東亜子 三谷順子 宮本由幾 三好宣子 村上菜摘 ﾓﾆｶ ﾍﾚﾝ ﾏｶﾗｴｸﾞ ｶﾋﾛｸ 山本裕子
役員	理事：梅田麻希　太田和宏　香取千晴　定藤繁樹　鋤柄利佳 　　野田ｼﾞｨｰﾝ　奈良雅美 監事：いなだ多恵子　仲尾育哉

2023 年 3 月 31 日時点